ポインティング デバイスとキーボード
ユーザ ガイド

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版： 2007 年 6 月

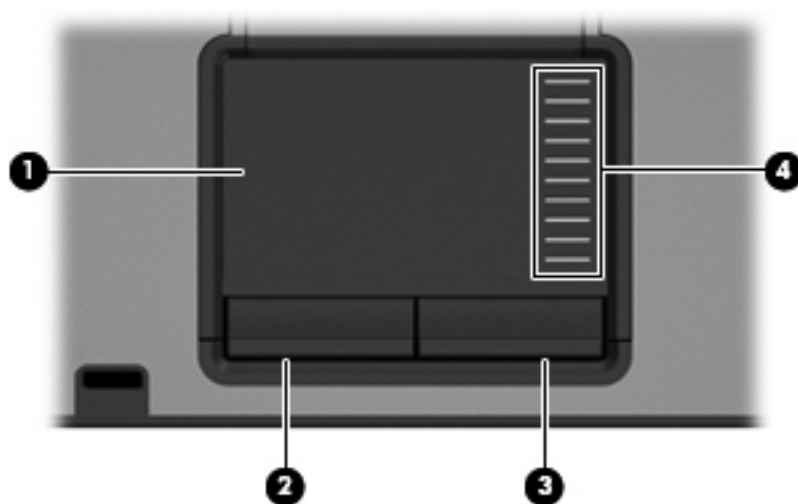
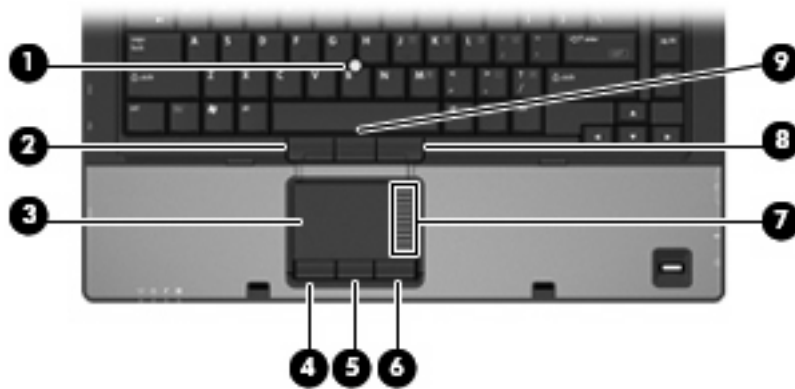
製品番号：438901-291

このガイドについて

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。 一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1 ポインティング デバイスの使用

注記： お使いのコンピュータに最も近い図を参照してください。

名称		説明
(1)	タッチパッド	ポインタを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(2)	左のタッチパッド ボタン	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(3)	右のタッチパッド ボタン	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(4)	タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします
この表では初期設定の状態について説明しています。 ポインティング デバイスの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[プリンタとその他のハードウェア]**→**[マウス]**の順に選択します。		

名称		説明
(1)	ポインティング スティック	ポインタを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(2)	左のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(3)	タッチパッド	ポインタを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(4)	左のタッチパッド ボタン	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(5)	中央のタッチパッド ボタン	外付けマウスの中央ボタンと同様に機能します
(6)	右のタッチパッド ボタン	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(7)	タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします
(8)	右のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(9)	中央のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの中央ボタンと同様に機能します
この表では初期設定の状態について説明しています。 ポインティング デバイスの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[プリンタとその他のハードウェア]**→**[マウス]**の順に選択します。		

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

[マウスのプロパティ]を表示するには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→ **[プリンタとその他のハードウェア]**→**[マウス]**の順に選択します。

ボタンの構成、クリック速度、ポインタ オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows®の[マウスのプロパティ]を使用します。

タッチパッドの使用

ポインタを移動するには、タッチパッドの表面でポインタを移動したい方向に指をスライドさせます。タッチパッド ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッド垂直スクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

注記： ポインタの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロール ゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロール ゾーンへ指を動かすだけでは、スクロール機能はアクティブになりません。

ポインティング スティックの使用

ポインタを移動するには、ポインティング スティックを移動したい方向に向かって押しつけます。ポインティング スティックの左、中央、および右のボタンは、外付けマウスの各ボタンと同様に機能します。

外付けマウスの接続

USB ポートのどれかを使用して外付け USB マウスをコンピュータに接続できます。外付けマウスは、別売のドッキング デバイスのポートを使用してコンピュータに接続することもできます。

2 キーボードの使用

ホットキーの使用

ホットキーは、fn キー（1）と、esc キー（2）またはどれかのファンクション キー（3）の組み合わせです。

f3、f4、および f8 ～ f11 の各キーのアイコンは、ホットキーの機能を表します。 ホットキーの機能および操作については次の項目で説明します。

注記： お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。また、次の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです。

機能	ホットキー
システム情報を表示する	fn + esc
スタンバイを起動する	fn + f3
コンピュータ本体のディスプレイと外付けディスプレイで表示画面を切り替える	fn + f4
バッテリ情報を表示する	fn + f8
画面の輝度を下げる	fn + f9
画面の輝度を上げる	fn + f10
周囲光センサをアクティブにする	fn + f11

ホットキー コマンドをコンピュータのキーボードで使用するには、次のどちらかの操作を行います。

- 短く fn キーを押してから、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。

  -または-

- fn キーを押しながらホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押した後、両方のキーを同時に離します。

システム情報の表示（fn ＋ esc）

fn ＋ esc を押すと、システムのハードウェア コンポーネントおよびシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます。

Windows では、fn ＋ esc を押すと、システム BIOS（基本入出力システム）のバージョンが BIOS 日付として表示されます。一部の機種では、BIOS 日付は 10 進数形式で表示されます。BIOS 日付はシステム ROM のバージョン番号と呼ばれることもあります。

スタンバイの起動（fn ＋ f3）

fn ＋ f3 ホットキーを押すと、スタンバイが起動されます。

スタンバイが起動すると、情報がランダム アクセス メモリ（RAM）に保存され、画面表示が消えて節電モードになります。コンピュータがスタンバイ状態の間は、電源ランプが点滅します。

△ 注意： 情報の損失を防ぐため、スタンバイを起動する前に必ずデータを保存してください。

スタンバイを起動する前に、コンピュータの電源がオンになっている必要があります。

注記： コンピュータがスタンバイ状態のときに完全なローバッテリ状態になった場合は、ハイバネーションが起動し、メモリに保存された情報がハードドライブに保存されます。完全なローバッテリ状態になった場合、工場出荷時設定ではハイバネーションが起動しますが、この設定は電源の詳細設定で変更できます。

スタンバイを終了するには、電源ボタンを短く押します。

fn ＋ f3 ホットキーの機能は変更できます。たとえば、fn ＋ f3 ホットキーを押すと、スタンバイではなくハイバネーションが起動するように設定できます。

注記： Windows オペレーティング システムのウィンドウでの「**スリープ ボタン**」に関する記述はすべて、fn ＋ f3 ホットキーに当てはまります。

画面の切り替え（fn ＋ f4）

システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、fn ＋ f4 を押します。たとえば、コンピュータにモニタを接続している場合は、fn ＋ f4 を押すと、コンピュータ本体のディスプレイ、モニタのディスプレイ、コンピュータ本体とモニタの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニタは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピュータからビデオ情報を受け取ります。fn ＋ f4 のホットキーでは、コンピュータからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

以下のビデオ伝送方式が fn ＋ f4 のホットキーでサポートされます。かっこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD (コンピュータ ディスプレイ)
- 外付け VGA (ほとんどの外付けモニタ)
- HDMI（HDMI ポートを備えたテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤ、ビデオ デッキ、ビデオ キャプチャ カード)
- コンポジット ビデオ（コンポジット ビデオ入力コネクタを備えたテレビ、ビデオカメラ、DVD プレーヤ、ビデオデッキ、ビデオ キャプチャ カード）

注記： コンポジット ビデオ デバイスをシステムに接続するには、別売のドッキング デバイスを使用する必要があります。

バッテリ充電情報の表示（fn ＋ f8）

fn ＋ f8 を押すと、コンピュータに取り付けられているすべてのバッテリの充電情報が表示されます。この表示から、充電中のバッテリと、各バッテリの残量を確認できます。

画面の輝度を下げる（fn ＋ f9）

fn ＋ f9 を押すと、画面の輝度が下がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に下がります。

画面の輝度を上げる（fn ＋ f10）

fn ＋ f10 を押すと、画面の輝度が上がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に上がります。

周辺光センサの有効化（fn ＋ f11）

周辺光センサの有効/無効を切り替えるには、fn ＋ f11 を押します。

3 HP Quick Launch Buttons の使用

HP Quick Launch Buttons（HP クイック ローンチ ボタン）を使用して、頻繁に使用するプログラムを開きます。 HP Quick Launch Buttons には、インフォ ボタン（**1**）およびプレゼンテーション ボタン（**2**）があります。

	名称	説明
（**1**）	インフォ ボタン	Info Center（インフォ センター）を起動します。Info Center を使用して、あらかじめ設定されたソフトウェア プログラムを起動できます 次のどれかの操作を実行するように、このボタンを再設定することもできます ● Q Menu（Q メニュー）またはプレゼンテーション機能を起動する ● 電子メール エディタを開く ● Web サイトを検索するための検索ボックスを開く
（**2**）	プレゼンテーション ボタン	プレゼンテーション機能をオンにします。 次のどれかの操作を実行するように、このボタンを再設定することもできます ● 指定したプログラム、フォルダ、ファイル、または Web サイトを開く ● 電源設定を選択する ● ディスプレイの設定を選択する

名称	説明
	画像は、コンピュータ本体の画面とコンピュータに接続された外付けデバイスに同時に表示されます。

HP Quick Launch Buttons の[設定]画面の使用

注記： ここに記載されている Quick Launch Buttons の機能は、お使いのコンピュータによっては利用できない場合があります。

HP Quick Launch Buttons の[設定]を使用して、以下のタスクを含むいくつかの操作を行うことができます。

- インフォ ボタンとプレゼンテーション ボタンのプログラムおよびボタンの設定の変更
- Q Menu の項目の追加、変更、および削除
- タイリングの設定

注記： Quick Launch Buttons の**[設定]**の項目に関する画面上での説明については、ウィンドウの右上隅にあるヘルプ ボタンをクリックしてください。

Quick Launch Buttons の[設定]画面の表示

HP Quick Launch Buttons の[設定]画面は、以下のどれかの方法で開くことができます。

- **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[プリンタとその他のハードウェア]**→**[Quick Launch Buttons]**の順に選択します。
- タスクバーの右端にある通知領域の**[HP Quick Launch Buttons]**アイコンをダブルクリックします。
- 通知領域の[HP Quick Launch Buttons]アイコンを右クリックし、次に**[HP Quick Launch Buttons のプロパティの調整]**をクリックします。

注記： モデルによっては、アイコンがデスクトップに表示される場合があります。

Q Menu の表示

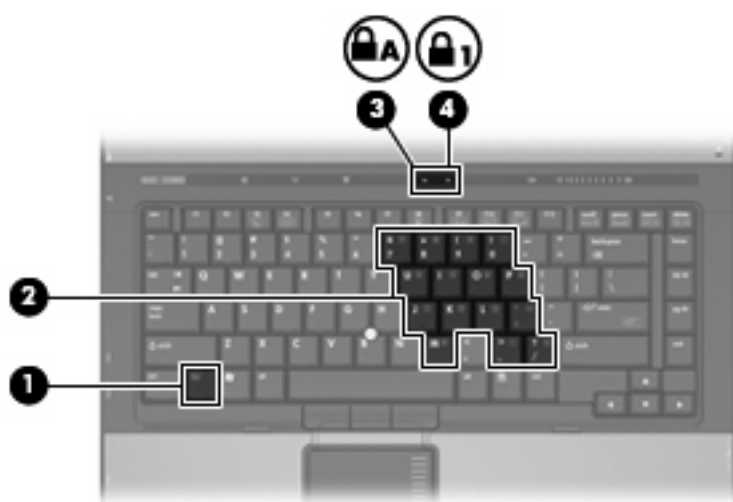
Q Menu では、多くのコンピュータでボタン、キー、またはホットキーを使って起動する各種システム タスクを簡単に起動できます。

Q Menu をデスクトップに表示するには、以下の操作を行います。

▲ **[HP Quick Launch Buttons]**アイコンを右クリックし、**[Q Menu の起動]**を選択します。

4　テンキーの使用

このコンピュータにはテンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

注記：　お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。また、次の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです。

	名称	説明
(1)	fn キー	ファンクション キーまたは esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使うシステムの機能を実行します
(2)	内蔵テンキー	外付けのテンキーと同じように使用できます
(3)	Caps Lock ランプ	点灯： Caps Lock がオンの状態です
(4)	Num Lock ランプ	点灯：num lock がオン（内蔵テンキーがオン）の状態です

内蔵テンキーの使用

内蔵テンキーの 15 個のキーは、外付けテンキーと同様に使用できます。内蔵テンキーが有効になっているときは、テンキーを押すと、そのキーの手前側面にあるアイコン（日本語キーボードの場合）で示された機能が実行されます。

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、fn ＋ num lock キーを押します。Num Lock ランプが点灯します。fn ＋ num lock キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。

注記： 外付けキーボードやテンキーがコンピュータまたは別売のドッキング デバイスに接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

内蔵テンキーの機能の切り替え

fn キーまたは fn ＋ shift キーを使って、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能を一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効になっているときにテンキーの機能をテンキー入力機能に変更するには、fn キーを押したままテンキーを押します。
- テンキーが有効な状態でテンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、以下の操作を行います。
  - 小文字を入力するには、fn キーを押したまま文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、fn ＋ shift キーを押したまま文字を入力します。

外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、num lock がオンのときとオフのときとで機能が異なります（出荷時設定では num lock はオフに設定されています）。たとえば、次のようになります。

- num lock がオンのときは、数字を入力できます。
- num lock がオフのときは、矢印キー、page up キー、page down キーなどのキーと同様に機能します。

外付けテンキーで num lock をオンにすると、コンピュータの num lock ランプが点灯します。外付けテンキーで num lock をオフにすると、コンピュータの num lock ランプが消灯します。

外付けテンキーを接続している場合は、内蔵テンキーを使用することができません。

作業中に外付けテンキーの num lock のオンとオフを切り替えるには、以下の操作を行います。

▲ コンピュータではなく、外付けテンキーの num lock キーを押します。

5 タッチパッドとキーボードの清掃

タッチパッドにごみや脂が付着していると、ポインタが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピュータを使用するときは手をよく洗います。

⚠ **警告！** 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使ってキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃します。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使ってキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみがはがれて取り除きやすくなります。

索引